

運転支援により大型二輪車の再開が可能となった一例

桔梗ヶ原病院

○松塚翔司，佐藤理恵，園原和樹

【はじめに】右視床出血を発症後 279 日の経過の中で段階的に普通自動車と大型二輪車の運転再開に到達した症例を経験したので報告する。

【症例】69 歳、男性。バイク屋を経営しており、趣味が友人とのツーリング。106 病日に実車評価を実施し、普通車の運転が再開となり在宅へ退院となる。その後、仕事や趣味である大型二輪の運転再開の希望あり、実車評価を行い、大型二輪の運転再開が可能となった。